

2 白岡市域の炭焼窯跡と古代製鉄

第77図は白岡市域における炭焼窯跡検出遺跡と製鉄関連遺跡の位置を示したものである。市域では、本報告の沖山西遺跡第3地点のほか、山遺跡と南鬼窪氏館跡の計3遺跡で炭焼窯跡が検出された。南鬼窪氏館跡第5地点においては、8～9世紀の炭焼窯跡が1基検出されている。山遺跡では第7地点や第9地点、第10地点などで炭焼窯跡が検出されているが、山遺跡第7地点炭焼窯跡出土炭化材は放射性炭素年代測定の結果、近現代という値が示された（松崎編2011）。

炭は重量に対して容積が大きくなるため、近距離から供給されるものと考えられ、炭焼窯跡の周囲には製鉄関連遺構がセットとなって存在することが多い。埼玉県屈指の古代製鉄遺跡である伊奈町の大山遺跡では、製鉄炉や鍛冶工房跡（赤熊編2012など）に加えて、同一遺跡内にも炭焼窯跡が検出されている（谷井ほか編1979、栗岡編2005）。また、近隣の同町赤羽遺跡（利根川ほか編1984）や上尾市の谷津下I遺跡（赤石編1987）でも同時期のものとされる炭焼窯跡が認められており、大山遺跡へ供給する炭が生産されたものと考えられる。

白岡市域における製鉄関連遺跡としては、白岡支台においてタタラ山遺跡、入耕地遺跡、中妻遺跡が、慈恩寺支台において赤砂利遺跡と宮山遺跡の計5遺跡が認められる。タタラ山遺跡第8地点では、奈良・平安時代住居跡の竈焚口部分で大口径羽口片が出土した。少量の鉄滓も出土しており、製鉄遺構そのものは検出されていないものの、付近での製鉄の可能性を窺わせる。入耕地遺跡では、第1・3地点より少量の鉄滓が出土している（奥野編2010）。中妻遺跡では、第2地点の第1～4号住居跡から、鉄滓と刀子や鎌といった鉄製品、砥石が出土しており、住居跡内で小鍛冶が行われていた可能性が高い（岡田編2012）。共伴土器の年代観から、第3号住居跡は7世紀後半、第1号住居跡は8世紀第Ⅲ四半期、第4号住居跡は8世紀第Ⅳ四半期、第2号住居跡は9世紀代に帰属するものと考えられる。第10地点では、市域では初めて精鍊工房跡が1軒検出され、炉跡と鉄が流れ出た湯口の痕跡が認められた。工房内からは、土師器や須恵器、鉄製品とともに、夥しい数の鉄滓や羽口が出土している。出土土器の年代観から、工房の帰属時期は8世紀第Ⅰ四半期末から第Ⅱ四半期にかけてのものと考えられる。赤砂利遺跡では、第2地点の第1号土壙（井戸跡）から羽口片1.45kg、鉄滓10.39g（内碗形滓2.75kg）、刀子や釘といった鉄製品が出土した（松崎編2004）。遺構の年代を特定できる遺物は出土しなかったが、付近で行われた小鍛冶操業による生成物を投棄したものと考えられる。宮山遺跡は、分布調査からは製鉄炉の存在の可能性が指摘されている（鈴木編1983）。しかし、平成24年度の試掘調査で遺跡の大部分を調査したが、製鉄に関する痕跡は一切認められなかった。

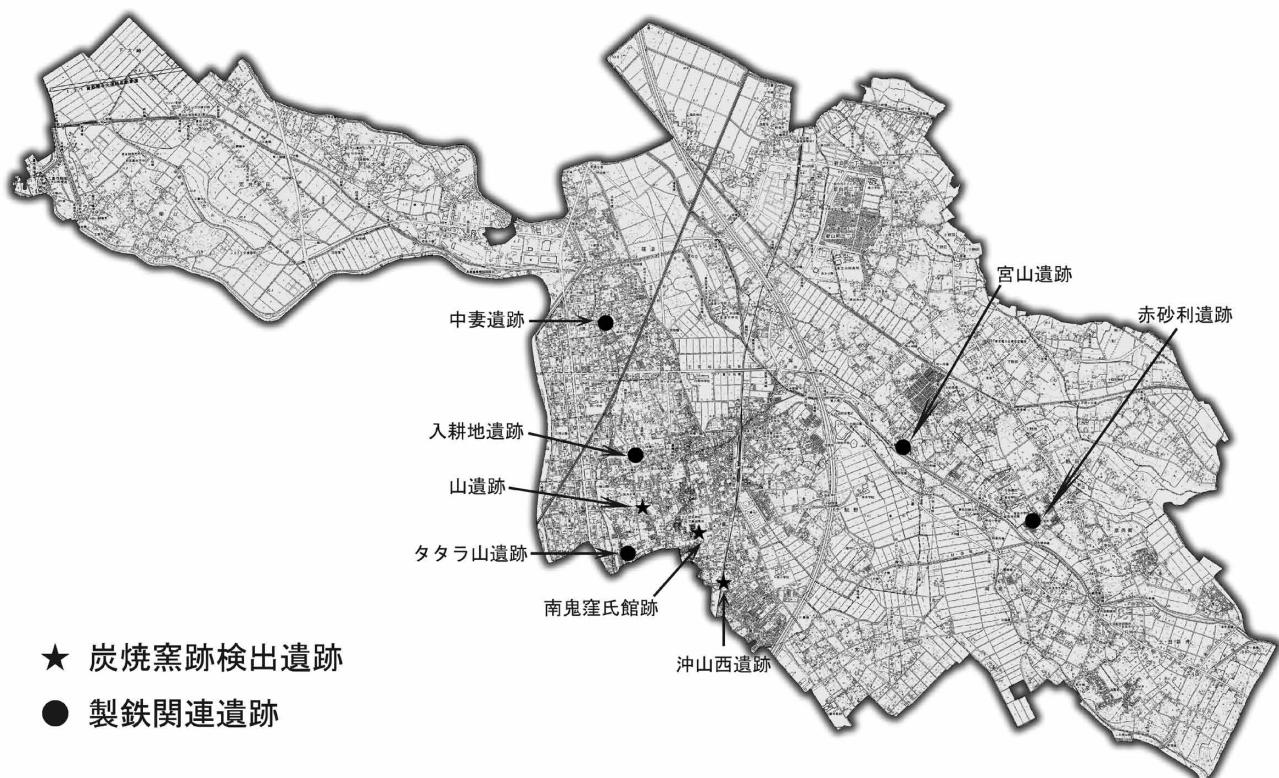
炭焼窯跡検出遺跡を含めると白岡市域では計8遺跡において、製鉄に關係する遺跡が認められている。しかし、上記のように時期比定できるものは白岡支台のみに限定され、中妻遺跡の事例から小鍛冶の痕跡は7世紀後半から9世紀代まで、精鍊鍛冶の痕跡は8世紀から認められる。また、炭焼窯の操業は7世紀後半から行われた可能性がある。

沖山西遺跡や南鬼窪氏館跡の炭焼窯跡で製炭された炭の供給先はどこであったのか。現在発見されているものの中で、木炭を必要とするような大規模な製鉄遺構は、白岡市域では中妻遺跡第10地点の精鍊工房跡のみである。沖山西遺跡と南鬼窪氏館跡が位置する小久喜地区と、中妻遺跡の位置する篠津地区とは距離的な隔たりがあり、製炭された炭が全て中妻遺跡に供給されていたのかには検討の余地を残す。製鉄

遺構そのものは検出されていないものの、タタラ山遺跡で製鉄が営まれていたと仮定した場合、距離的にも炭焼窯と近接する同遺跡は、炭の供給先として有力な候補と考えられよう。

引用文献

- 谷井 彪ほか編 1979 『大山』埼玉県遺跡発掘調査報告書第23集 埼玉県教育委員会
赤石光資編 1987 『谷津下I遺跡』上尾市文化財調査報告第30集 上尾市教育委員会
赤石光資・小宮山克己編 1994 『八番耕地遺跡』上尾市遺跡調査会調査報告書第11集 上尾市遺跡調査会
赤熊浩一編 2012 『大山遺跡 第12次』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第392集 財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団
岡田勇介編 2012 『中妻遺跡(第2・4・8地点)』白岡町埋蔵文化財調査報告書第21集 白岡町教育委員会
奥野麦生編 2010 『入耕地遺跡—第1・3地点—』白岡町遺跡調査会報告書第9集 白岡町遺跡調査会
栗岡 潤編 2005 『大山遺跡 第10・11次』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第299集 財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団
鈴木敏昭編 1983 『原始・古代I(遺跡分布調査)』白岡町史資料2 白岡町
利根川章彦ほか編 1984 『赤羽・伊奈氏屋敷跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第31集 財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団
松崎慶喜編 2004 『赤砂利遺跡(第2地点)』白岡町埋蔵文化財調査報告書第13集 白岡町教育委員会
松崎慶喜編 2011 『山遺跡(第7地点)』白岡町埋蔵文化財調査報告書第20集 白岡町教育委員会



第77図 白岡市域の炭焼窯跡と製鉄関連遺跡の分布